

総務教育常任委員会資料

(平成26年11月27日)

〔件名〕

- ・ 秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下の御来県について 【総務課】・・・1
- ・ 「とっとり・おかやま新橋館」オープン後の状況について
【東京本部】・・・12
- ・ 大山会の故郷訪問について 【東京本部】・・・14
- ・ 第4回 秋田・鳥取 うまいぞ！ハタハタフェスティバルの実施について
【東京本部】・・・15
- ・ 株式会社八立製作所の鳥取市進出に係る調印式について
【関西本部】・・・16
- ・ 関西圏での「食のみやこ鳥取県」のPR活動状況について
【関西本部】・・・17
- ・ 「とっとりビジネスフォーラムin名古屋」の開催状況等について
【名古屋代表部】・・・19
- ・ 名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・20

総 務 部

秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下の御来県について

平成26年11月27日

総務課

秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下は、去る10月31日（金）から11月2日（日）まで「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」に御臨席されるとともに、鳥取市、智頭町の各お立ち寄り先を御訪問になりました。

また、11月22日（土）から11月23日（日）まで「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」にも御臨席いただきました。

1 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

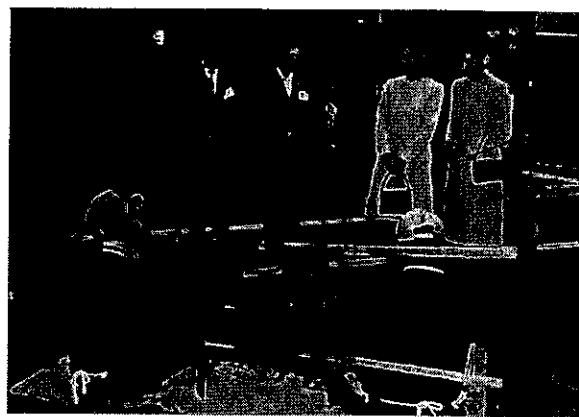
11月1日（土）には、とりぎん文化会館で行われた大会の開会式に御臨席いただくとともに、鳥取県立博物館で行われた「国際障がい者アート展」や智頭町の石谷家住宅を御視察になりました。

11月2日（日）には、鳥取県立博物館で行われた「アールブリュット展」やとりぎん文化会館で行われた「じゆう劇場」、ピアノリサイタルを鑑賞されたほか、流しびなの館でひな人形等とともに、棧俵作りも御覧になりました。

<御視察先等のご様子>



開会式 おことば（とりぎん文化会館 11月1日）



杉玉作り御覧（石谷家住宅 11月1日）



人形浄瑠璃御覧（石谷家住宅 11月1日）



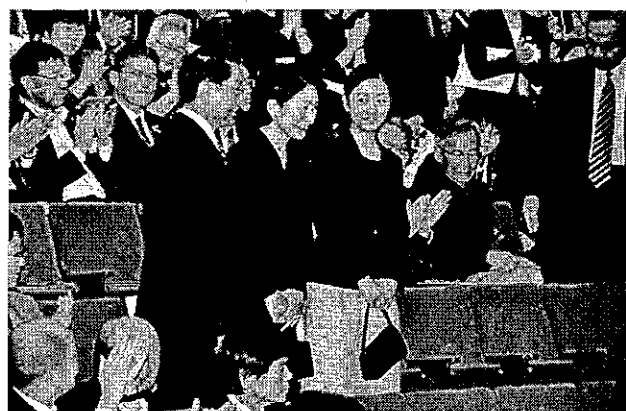
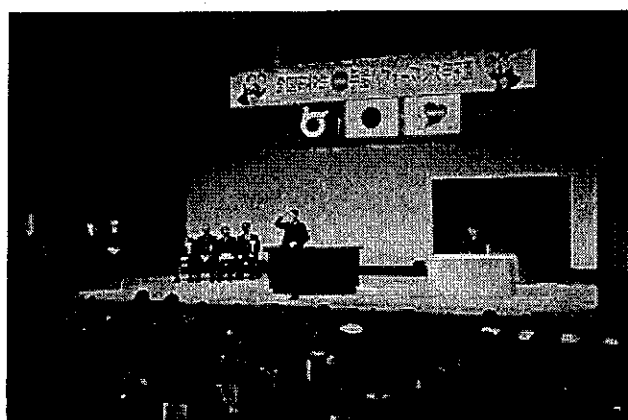
棧俵作り御覧（流しびなの館 11月2日）

2 全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園

11月22日(土)には、ダイキンアレス青谷で行われた手話パフォーマンス甲子園に参加する高校生約260人が参加した交流会に御臨席され、23日(日)には、生涯学習センター県民ふれあい会館で行われた開会式へ御臨席、また高校生のパフォーマンス演技並びにアメリカのろう者劇団の手話劇を御覧になりました。



交流会御臨席(ダイキンアレス青谷 11月22日) 開会式おことば(県民ふれあい会館 11月23日)



開会式 選手宣誓(県民ふれあい会館 11月23日) 客席にて御覧(県民ふれあい会館 11月23日)

あいサポート・アートとっとりフェスタの開催結果について

平成26年11月27日
全国障がい者芸術・文化祭課

あいサポート・アートとっとりフェスタ(第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会)は、大会テーマを「障がいを知り、共に生きる」とし、障がい者の芸術文化活動の成果を発表するとともに、障がいへの理解を促進することを目的に開催し、以下のような成果があった。

1 県内における障がい者の芸術文化活動の活発化

区分	H24	H25	H26
アート活動支援事業対象団体数	21団体	33団体	43団体
美術作品等の出品数	152点	309点	387点
個展等開催費支援対象者数	—	—	32者

2 障がい者の社会参加意識の向上

- 多くの来場者に自分たちの舞台発表や美術作品等を鑑賞していただいたことにより、障がい者は自信や達成感を抱かれた。



特別支援学校生徒
約400人による大合唱



障がい者団体によるステージ発表

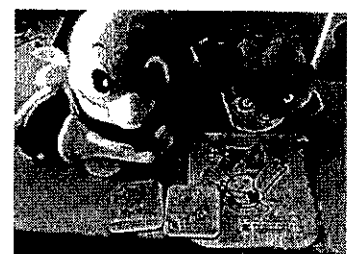
- PRキャラバン隊のリーダー、大会キャラクターの作成、PRグッズの製作等を障がい者が担ったことによる社会参加意識の向上。



大会キャラクター「パレットくん」とデザイナー「山本拓司さん」



軽度の知的障がいのあるキャラバン隊リーダー「中尾奈々さん」



県内の障がい福祉サービス事業所が作成した大会PRグッズ

3 障がい者に対する理解の促進

(1) 障がい者の発表の鑑賞による理解

各開催会場には、障がいの有無にかかわらず多くの来場者があり、障がい者の舞台発表や美術作品等を鑑賞し、障がい者への理解を深めた。アンケート結果では「満足、やや満足」との回答が大多数であり、共生社会の実現を望む意見もあった。



多くの来場者で賑わう発表会場

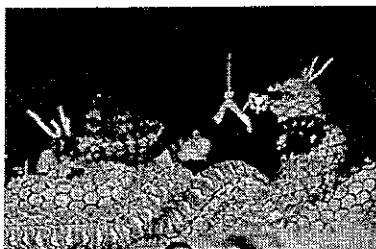


ホールイベントも大盛況

(2) 障がい者と健常者との交流による理解

障がい者と健常者とのコラボレーションによる舞台発表や美術作品等の創作による交流

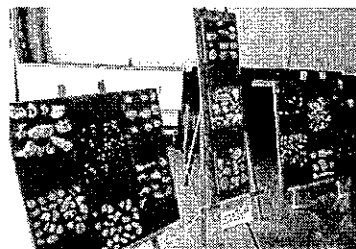
例：県立米子養護学校と日野高校による荒神神楽、障がい者と健常者による劇団による演劇、さくら工房と正調会による貝殻節、プロのアーティストと障がい者による美術作品等の創作



県立米子養護学校と日野高校による「荒神神楽」



障がいのある人とない人で創りあげたじゆう劇場「三人姉妹」



アーティストリンク作品展

(3) あいサポートの輪の拡大

- ・大会運営に延べ1,210人（登録者739人）のボランティアに参加していただき、障がい者の支援等にあっていただいた。ボランティアの全員が「あいサポーター研修」を受講。
- ・PRキャラバン隊が、保育園、幼稚園、イベント、ショッピングモール等に出かけて大会のPRのほか、障がい体験等を実施した。



車いすの操作を手伝うボランティア



視覚障がい者の支援を行うボランティア



「あいサポーター」研修の様子

(4) 障がい者が作った製品の販売による理解

開催会場では、県内の障がい福祉サービス事業所が作った食品、製品等を販売し、県民の方が多く買われるなど障がい者への理解につながった。



スイーツ甲子園鳥取
県予選



スイーツ販売

(5) 障がいへの理解促進

多くの方々に大会の応援団になって大会をサポートしていただいたり、あいサポート大使としてグランドフィナーレの最後に手話で宣言していただくなどの取組により、あいサポート運動の普及と障がい理解が進んだ。



あいサポート大使の「垣本月海(つぐみ)さん」「心和(こより)さん」姉妹



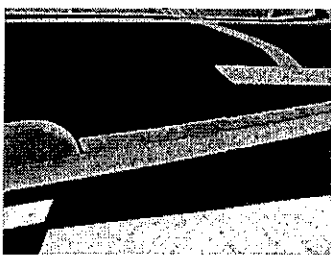
あいサポート大使による閉会宣言

4 重度の障がい者の参加

救護室の設置、支援者の配置、車椅子席の設置などの環境整備を行うことによって、重症心身障がい者などの重度の障がい者にも大会に参加していただいた。(保護者からのお礼あり)

5 施設のバリアフリー化の進展

- ・とりぎん文化会館のトイレ整備(大人用ベッド、洋式化、洗浄機能追加)
- ・会場近辺のメイン道路の歩道の整備(車椅子用の段差解消、インターロッキングの点検整備)
- ・宿泊施設等のバリアフリー化
- ・主要駅と会場を結ぶ無料シャトルバスの運行や駅に総合案内を設置



歩道の車いす用の段差解消



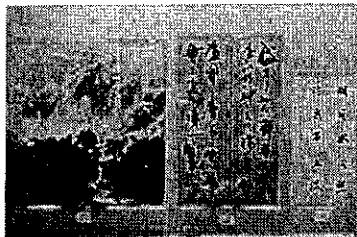
駅の総合案内所



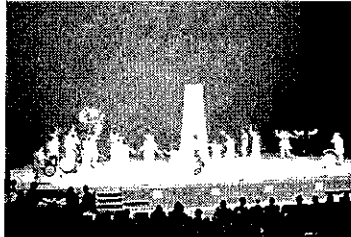
無料のシャトルバス

6 国内だけでなく国際的な取組へと発展

国内のみならず海外からも広く募集した障がい者アート作品の展示会や、日本と韓国のろう者と健聴者との演劇、海外の障がい者の舞台発表など、国際的な取組も行い、障がい者アートの魅力を鳥取から日本全国、海外へも発信した。



多くの海外作品も寄せられた
「国際障がい者アート展」



日本と韓国のろう者と健聴者が一緒に作り上げた
「日韓手話演劇」



台湾台中市の全盲の
アコーディオン楽団による
舞台発表

7 大会の成果を共生社会実現の土台として次のステップへ

この大会を契機として、障がい者と健常者との交流や触れ合いがさらに盛んに行われ、相互理解が深まり、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを尊重して支え合いながら生きていく共生社会が実現する道が、鳥取県から開かれていきました。この大会の成果を共生社会実現の土台として、次のステップを目指します。



出演者・来場者全員で「あいサポの輪」

8 全国障がい者芸術・文化祭で初めてとなる秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下の御臨席

全国障がい者芸術・文化祭で初めて秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下に御臨席賜りました。



秋篠宮妃殿下お言



国際障がい者アート展御覧



交流レセプション



アール・ブリュット展御覧



じゆう劇場の演劇御覧



因州和紙アート体験御臨席

<各種データ>

1 大会入場者数 (延べ人数)

43,276人

<主なイベント (2千人以上)>

- ・クライマックスイベント 15,151人
- ・アール・ブリュット展 8,506人
- ・オープニングセレモニー 4,203人
- ・アーチストリンク作品展 3,782人
- ・特別支援学校合同文化祭 2,812人
- ・国際障がい者アート展 2,353人

2 大会イベント数 (延べ人数)

97イベント

- ・実行委員会主催イベント 24事業
- ステージイベント 8事業
- 展示イベント 10事業
- ワークショップ 6事業
- ・関連イベント 73事業

3 大会出演者 (延べ人数)

1,745人

計 1,745人			うち障がい者 1,266人			うち健常者 479人		
県内	県外	海外	県内	県外	海外	県内	県外	海外
1,620	93	32	1,193	47	26	427	46	6

4 大会出展数 (延べ点数)

3,577点

計 3,577点			うち障がい者 2,752点			うち健常者 825点		
県内	県外	海外	県内	県外	海外	県内	県外	海外
1,092	2,377	108	913	1,731	108	179	646	0

※海外：25か国 (パラアート展16か国、国際障がい者アート展11か国、重複2か国)

5 ボランティア参加状況

739人 イベント参加ボランティア数 延べ1,210人

ボランティアの皆さんには、「あいサポーター」になっていただき、多様な障がいの特性、障がいのある方への必要な配慮などを理解してから、業務に当たっていただいた。

<アンケート結果>

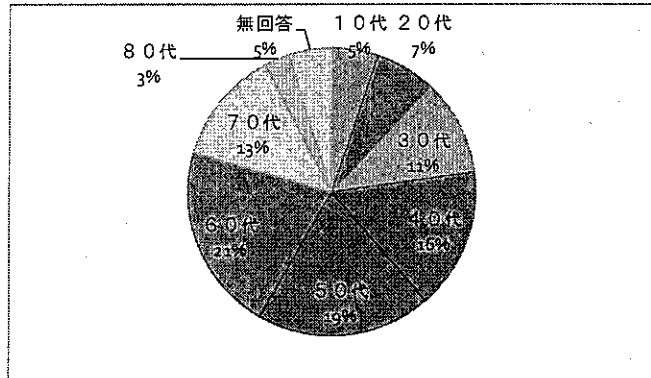
1 アンケート実施イベント等

イベント等名	開催日	場所	回答数
オープニングセレモニー	平成26年7月12日	とりぎん文化会館	80
瑞宝太鼓	平成26年8月9日	倉吉未来中心	17
NHKハート展	平成26年8月13日～8月22日	とりぎん文化会館	148
パラアートとっとり展 大会キャラクター友だち作品展	平成26年9月5日～9月21日	やまびこ館	212
アール・ブリュット展米子	平成26年9月6日～9月28日	米子市美術館	1,086
特別支援学校合同文化祭	平成26年9月20日	倉吉体育文化会館	30
あいサポートコンサート	平成26年10月4日	米子市公会堂	38
アール・ブリュット展倉吉	平成26年10月9日～10月19日	倉吉博物館	394
アーチストリンク作品展	平成26年10月16日～11月3日	とりぎん文化会館	662
アール・ブリュット展鳥取	平成26年10月25日～11月3日	県立博物館	204
国際障がい者アート展	平成26年10月25日～11月3日	県立博物館	333
クライマックスイベント	平成26年11月1日～11月3日	とりぎん文化会館	399
計			3,603

2 アンケート結果

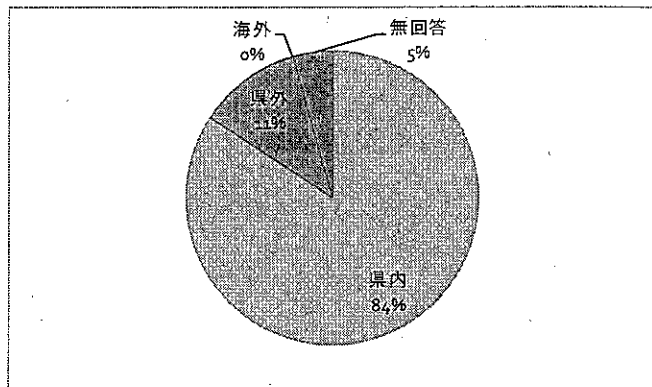
○年代

10代	186
20代	243
30代	392
40代	572
50代	709
60代	761
70代	461
80代	103
無回答	176
計	3,603



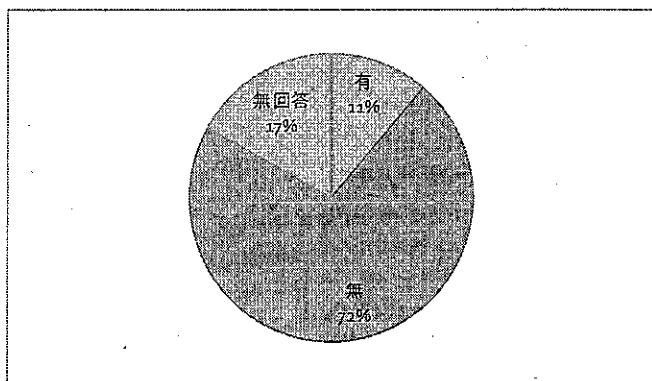
○お住まいはどちらですか？

県内	3,034
県外	408
海外	3
無回答	158
計	3,603



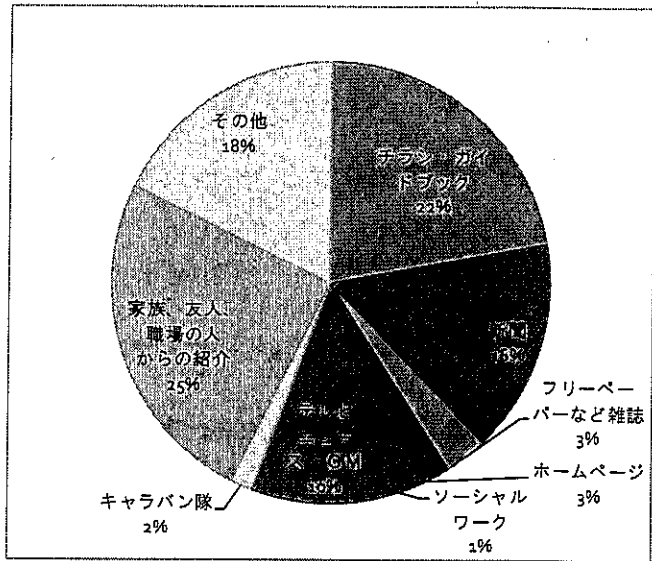
○障がいの有無

有	403
無	2,590
無回答	610
計	3,603



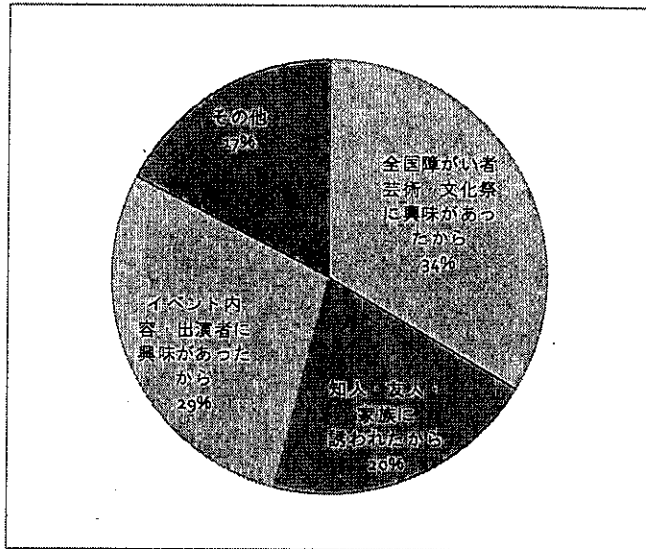
○どこでお知りになりましたか？(複数可)

チラシ・ガイドブック	926
新聞	654
フリーペーパーなど雑誌	131
ホームページ	147
ソーシャルワーク	32
テレビニュース・CM	442
キャラバン隊	67
家族、友人、職場の人からの紹介	1,042
その他	744
計	4,185



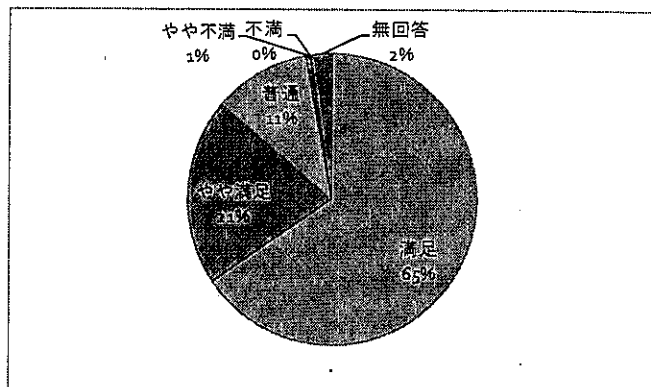
○参加したきっかけは何ですか？(複数可)

全国障がい者芸術・文化祭に興味があったから	1,401
知人・友人・家族に誘われたから	852
イベント内容・出演者に興味があったから	1,195
その他	728
計	4,176



○本日のイベントについていかがでしたか？

満足	2,355
やや満足	751
普通	391
やや不満	18
不満	2
無回答	86
計	3,603



全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園の開催について

平成26年11月27日

障がい福祉課

全国の高校生が手話を使って様々なパフォーマンスを繰り広げ、その表現力を競う「全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園」を全国で初めて開催したので、その概要を報告します。

1 大会概要

(1) 日時 平成26年11月23日(日・祝) 10:30~17:00

(2) 会場 県立生涯学習センター県民ふれあい会館(鳥取市扇町21)

(3) 主催等 主催:手話パフォーマンス甲子園実行委員会

共催:鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

(4) 内容

ア 出場チーム演技(20チーム。手話を使ったダンス、歌唱、演劇など。)

司会:早瀬憲太郎さん(NHK「みんなの手話」レギュラー)

今井絵理子さん(「SPEED」メンバー、2011年NHK「みんなの手話」司会)

イ ゲスト演技

アメリカの手話劇団 The National Theatre of the Deaf (ナショナルシアター・オブ・ザ・デア)

ウ 審査発表、表彰、総評

(5) 来場者数 約750名(サテライト会場を含む)

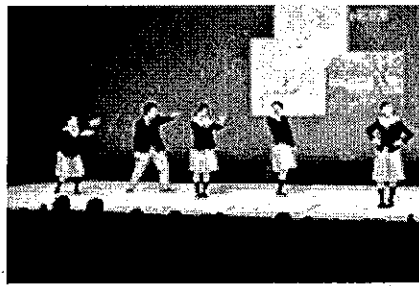
2 審査結果

(1) 審査結果

ア 優勝 石川県立田鶴浜高等学校(5名:手話歌) ※特別枠



＜表彰式＞



＜演技＞

イ 準優勝 鳥取県立鳥取聾学校(5名:手話劇、手話歌) ※予選1位

ウ 第3位 三重高等学校、三重県立相可高等学校、三重県立松阪工業高等学校
(6名:手話歌、手話ダンス) ※特別枠

エ 審査員特別賞 奈良県立ろう学校(10名:手話劇) ※予選3位

(2) 審査方法

ろう者の審査員3名:「手話の正確性・わかりやすさ」「手話表現の創造性・表現力」を審査
聞こえる人の審査員3名:「総合的な表現力・パフォーマンス度」を審査

(3) 表彰関係

ア 優勝チームに優勝旗と賞状、個人に金メダル(砂のレリーフ)と副賞(iPad mini2)を授与
あわせて全日本ろうあ連盟から「全日本ろうあ連盟賞」を授与

イ 準優勝チームに盾と賞状、個人に銀メダルと副賞(鳥取県特産品5万円相当)を授与

ウ 第3位のチームに賞状、個人に銅メダルと副賞(鳥取県特産品3万円相当)を授与

エ 審査員特別賞のチームに賞状、個人に副賞(鳥取県特産品2万円相当)を授与

オ 出場者(優勝、準優勝、3位以外)及び応募者全員に、砂を使ったキーホルダーを進呈

カ その他、出場者全員に(株)タケモトフーズから大会記念のチョコレートを進呈

(4) 出場チームの状況

応募41チームから選出された特別枠5チームと予選通過15チームの計20チームが出場
北海道:2、東京都:2、石川県:1、愛知県:1、三重県:1、滋賀県:1、大阪府:1、
奈良県:1、鳥取県:3、高知県:1、福岡県:2、佐賀県:1、沖縄県:3 計20チーム



＜鳥取聾学校＞



＜倉吉北高等学校＞



＜境港総合技術高等学校＞

3 秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下の御臨席

大会の全日程を通して、秋篠宮妃殿下並びに佳子内親王殿下に御臨席賜りました。

大会前日の交流会においては、出場チームの高校生と御歓談いただきました。



＜秋篠宮妃殿下お言葉＞



＜出場チーム等演技御覧＞



＜交流会＞

4 次回の開催について

来年度の第2回大会の開催については、今後、実行委員会において検討する。

出場チーム、関係者等の意見をとりまとめ中であり、今大会の反省を踏まえた内容とする予定。

5 その他

- (1) 大会前日にはダイキンアレス青谷において交流会を開催
- (2) ホールでの観覧は応募者の中から抽選で選ばれた方のみとなっていたことから、ステージの様子を5階のサテライト会場でスクリーン上映したほか、インターネットでライブ配信を実施
- (3) 1階レストラン「なじみ亭」を1日限定の手話カフェとしたところ、多くの方が入店し、手話スタンプと手話でコミュニケーションをとっていた
- (4) 1階ロビーで、鳥取聾学校写真部の作品のパネル展示、障がい者の事業所商品の販売等を実施

6 鳥取県手話言語条例制定1周年記念シンポジウム

大会前日には、鳥取県手話言語条例制定1周年を記念したシンポジウムを開催した。

- (1) 日時 平成26年11月22日(土) 13:00～16:00
- (2) 会場 県立生涯学習センター県民ふれあい会館(鳥取市扇町21)
- (3) 主催等 主催：鳥取県 共催：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
- (4) 内容

ア 基調講演 講師：早瀬憲太郎さん(NHK「みんなの手話」レギュラー)

イ パネルディスカッション：手話言語条例先進自治体における事例報告、意見交換

コーディネーター：大杉 豊 筑波技術大学准教授

パネリスト：北海道石狩市、北海道新得町、三重県松阪市、佐賀県嬉野市、全日本ろうあ連盟、鳥取県

ウ 鳥取県手話言語条例成果発表

- ・遠隔手話通訳モデル事業の成果発表、デモンストレーション
- ・鳥取県聴覚障害者協会の発表
- ・八頭町立隼小学校児童による手話教育成果発表
- ・鳥取聾学校ひまわり分校生徒のスピーチ
- ・鳥取第三幼稚園園児による手話を使った合唱

- (5) 来場者数 260名

「とっとり・おかやま新橋館」オープン後の状況について

平成26年11月27日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

1 入館者数の累計

<とっとり・おかやま新橋館 (H26.9.28 オープン) >

○オープン3日間 (9/28~9/30)	8,306人
○オープン1か月 (10/1~10/31)	54,371人
計	62,677人

<食のみやこ鳥取プラザ (H20.8.29 オープン) >

○オープン3日間 (8/29~8/31)	2,266人
○オープン1か月 (9/1~9/30)	10,725人
計	12,991人

<来館者の声>

- 広くて、明るくて、ゆったりとしていいお店。(一番多い声)
- 鳥取県と岡山県の物が一緒に買えて良かった。
- 野菜の取扱いをもっと増やして欲しい。

<課題>

- 当初、生鮮食品の取扱い割合を高くすることをショップの売りとしていたが、想定通りになっていない。
→ 現地商談会等を行い、生鮮食品の取扱いを増やす予定。
- 商品管理が不十分で、売れ筋商品がなかったりすることがある。
→ 運営事業者がマンパワーを増やすなど商品管理体制を強化した。

2 入館者10万人達成について

(1) オープン56日目で10万人達成

- ・達成日時 11月22日(土)午後2時7分
- ・10万人目の来場者
須田みちよさん(自営業、東京都墨田区在住)
木村 蘭子さん(会社員、東京都練馬区在住)
※初めての来店。誕生日のランチ会の帰りに寄った。



(2) 10万人達成記念催事の概要

① 10万人来館記念式典

〔日 時〕 11月22日(土)午後2時10分~

〔概 要〕

- ・10万人目の方へ記念品贈呈
〔松葉がに(鳥取県)、千屋牛のステーキセット(岡山県)〕
- ・式典参加者へ記念品プレゼント〔オリジナル手ぬぐい〕

② 驚きと感謝のありがとうキャンペーン

〔期 日〕 11月29日(土)、30日(日)

〔概 要〕

- ・カニ汁(鳥取県)や千屋牛の牛すじ塩煮込み(岡山県)の振る舞い
- ・抽選会の実施(1,500円以上のお買上げ、飲食をされた方、各日先着300名)
 - 一等 松葉がに(1日1枚)
 - 二等 千屋牛のステーキセット(1日2セット)
 - 三等 焼きがにせんべい(鳥取県) or コラーゲンゼリー(岡山県)
 - 四等 オリジナル手ぬぐい
 - 五等 携帯カイロ

3 平成26年度催事利用状況 (H26.11.24現在)

区分	催事スペース (2F)	両県プロモーションゾーン (1F)
11月24日まで (実績)	24件 (うち鳥取県単独11件、連携事業3件)	16件 (うち鳥取県単独12件、連携事業1件)
11月25日以降 (予定)	32件 (うち鳥取県単独11件、連携事業2件)	22件 (うち鳥取県単独10件、連携事業1件)
計	56件 (うち鳥取県単独22件、連携事業5件)	38件 (うち鳥取県単独22件、連携事業2件)

<鳥取・岡山が連携した主なイベント>

- ・鳥取県、岡山県商工会連合会共同による物産展の開催 (10月3～5日)
- ・地紅茶の試飲販売、鳥取の柿と梨・岡山のぶどうの食べ比べ (10月25～26日)
- ・鳥取、岡山広域観光協議会による試食・試飲会、ガラポン抽選会 (11月7日)

4 観光・移住コーナー利用状況 (H26.11.24現在)

区分	件数	うち鳥取県関係	摘要
観光	153件	99件	パンフレットラック開架のチラシ好評
移住・定住	29件	8件	
物産	6件	4件	
その他	26件	9件	ふるさと納税等
計	214件	120件	

※11月6日から鳥取県単独で、移住に関する個人相談会を夜間、休日に開催。

<主な相談内容>

- 松葉がにを食べに行きたいので、お店を知りたい。
- オススメ観光スポットを教えて欲しい。
- 大山、鳥取砂丘に行きたい。温泉にもつかりたい。
- 三朝温泉に泊まりたい。
- 鳥取県への移住を考えているが、どんな暮らしか教えて欲しい。仕事も見つけないと思う。

大山会の故郷訪問について

平成26年11月27日
東京本部

本県出身で主に首都圏在住の会社経営者を中心とした親睦団体である「大山会」が本県を訪問され、県や地元経済団体との意見交換や視察を行いました。

1 大山会参加者

氏名	役職名等	備考
山田 憲典	株式会社不二家 代表取締役会長	代表幹事
足立 盛二郎	前 株式会社ゆうちょ銀行 会長	
上山 信一	元 農林中央金庫 副理事長	
岡田 信吾	元 日本生命保険相互会社 副社長	
柏木 雅浩	元 株式会社グラフィックプロダクツ 社長	
金子 亮太郎	元 明治安田生命保険相互会社 社長	
宮崎 正彦	株式会社鳥取銀行 代表取締役頭取	
山本 哲也	株式会社エフエム 代表取締役社長	
米瀆 和英	株式会社リンガーハット 代表取締役会長兼CEO	

2 日時・視察先

(1) 11月14日(金)

「岩美町観光協会」(アニメ「Free!」による地域おこしの取組み) ⇒ 「砂の美術館」 ⇒ 「県との意見交換会」(地方創生に向けた取組み) ⇒ 「(株)不二家システムセンター鳥取事務所」(H23年県誘致企業)

※「県との意見交換会」(議題：地方創生)における主な大山会会員の意見

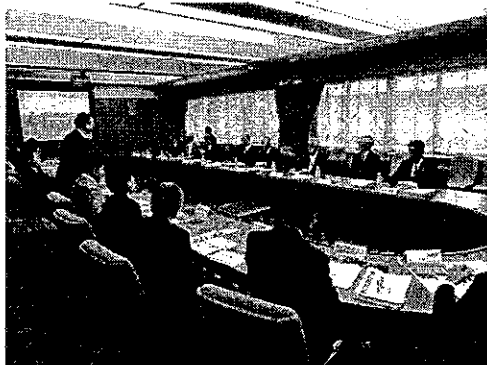
- ・ 中山間地域振興を県が徹底的に行い、その取組みを全国に発信してほしい。
- ・ 県民が自信と誇りを抱いている姿を発信することが重要。
- ・ 県産の梨や柿は、欧州でも売れる。販路開拓を試みてはどうか。
- ・ スポーツは地域を元気にする。大きな街づくりの一つであると思う。
- ・ 若い女性をターゲットに発信していく必要がある(岩美町観光協会の取組みを視察して)
- ・ ふるさとの発展のため、大山会も応援する。

(2) 11月15日(土)

「鳥取かにフェスタ2014」(オープニングセレモニー参加) ⇒ 「鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター」 ⇒ 「経済団体との意見交換会」(県内経済情勢等に関する意見交換) ⇒ 「鳥取県栽培漁業センター」

(3) 11月16日(日)

「鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター」 ⇒ 「とっとり自然環境館・ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」



(11/14/県との意見交換会)



(11/15/鳥取かにフェスタ2014)

(参考)

1 「大山会」

主に首都圏在住で本県出身の会社経営者を中心とした親睦団体。昭和50年に初会合を持って以来、毎年2回程度の会員同士の例会を開き、県知事や県に縁のある国務大臣等もゲストとして招聘し、相互の親睦を深める。今年7月には竹歳誠駐オーストリア特命全権大使訪問を含む中欧視察を実施。

2 会員：54名

代表幹事：山田憲典氏 [(株)不二家代表取締役会長]
年番幹事：米瀆和英氏 [(株)リンガーハット代表取締役会長兼CEO]

第4回 秋田・鳥取 うまいぞ！ハタハタフェスティバルの実施について

平成26年11月27日
食のみやこ推進課
東京本部

ハタハタの認知度向上のため、東日本の主産地である秋田県と西日本の主産地である鳥取県が連携し、両県合同で都内でのPRイベントや飲食店フェアを次のとおり開催します。

- 1 日時 11月29日（土）午前9時30分～午後4時
11月30日（日）午前9時30分～午後3時
- 2 会場 築地本願寺前広場（東京都中央区築地3-15-1）
- 3 主な内容
 - ・両県知事によるハタハタ自慢比べ（29日）
 - ・山陰海岸学習館ギョギョバイザーさかなクスステージ（30日のみ）
 - ・ハタ-1グランプリ[各出展者のハタハタ料理を競うコンテスト]の開催
（本県は白ハタ寿司、ハタハター夜干し焼き、ハタハタマグロ魚醤鍋等を出展）
 - ・両県特産品の販売（とっとり・おかやま新橋館、鳥取県産魚PR推進協議会等が出展）
 - ・鳥取県観光PR（カニバックキャンペーンなど）
 - ・両県伝統芸能の披露（因幡の傘踊りを披露）
 - ・鳥取県出展者14団体
- 4 ハタハタ料理の提供
首都圏の鳥取県ゆかりの店等（22店舗）で鳥取県のハタハタを提供するとともに、ハタハタフェスティバルのPRを実施する。 ※ハタハタの入荷状況で提供時期が異なる。
 - ・稲田屋 [いなたや]（日本橋店他首都圏5店舗）
 - ・炉端かば（新宿西口本店他首都圏8店舗）
 - ・季節料理 さん昇 [さんしょう]
 - ・居酒屋わったい菜
 - ・恋文酒場 かつば 恋文横丁店
 - ・ワインバル アルガス
 - ・初代 おかわりや
 - ・おまっとさん 絆
 - ・とっとり・おかやま新橋館 ピストロカフェももてなし家
- 5 その他
東京メトロの協力により築地駅とその周辺駅にポスターを掲示するとともに、東京都中央区の広報誌に情報掲載し事業の周知を図っている。

株式会社八立製作所の鳥取市進出に係る調印式について

平成26年11月27日
立地戦略課
関西本部

建設機械用の板金部品製造を行う(株)八立製作所(はちりつせいさくしょ、本社:大阪市)が、鳥取市に立地することとなり、これを支援する鳥取県・鳥取市との間で、下記のとおり協定書の調印式を実施しました。

記

1 会社概要

- (1) 会社名: 株式会社八立製作所
- (2) 代表者: 代表取締役社長 大山 栄一(おおやま えいいち)
- (3) 所在地: 大阪府大阪市生野区巽中二丁目21-4
- (4) 資本金: 10,000千円
- (5) 売上高: 約13億5千万円(平成25年度)
- (6) 従業員数: 47名
- (7) 主業務: 建設機械用板金部品製造(ブルドーザーや油圧ショベル等の部品製造)
- (8) 今後の事業見通し
売上高の9割以上を占める(株)小松製作所の最終製品である建設機械が、新興国向けを中心に需要が堅調に推移しており、今後も更なる受注拡大を見込んでいる。

2 立地計画の概要

- (1) 工場名: 株式会社八立製作所 鳥取工場
- (2) 立地場所: 鳥取市国府町糸谷字中津塔16番18号(旧塗本金型製作所空き工場)
- (3) 事業概要: 建設機械用板金部品製造
- (4) 投資額: 約5億1千万円
- (5) 雇用計画: 20名(うち正規雇用18名を予定)
- (6) 操業時期: 平成27年1月(予定)

3 県・市の支援見込み

区分	鳥取県 企業立地事業補助金	鳥取市 企業立地事業補助金	合計
設備投資	約76,500千円	約40,800千円	約117,300千円

(※: その他: 正規雇用奨励金による支援予定)

4 調印式

- (1) 日時 平成26年11月18日(火) 14時55分から15時45分まで
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室(鳥取市東町)
- (3) 出席者 株式会社八立製作所 代表取締役社長 大山 栄一
鳥取県 知事 平井 伸治
鳥取市 副市長 羽場 恭一



関西圏での「食のみやこ鳥取県」のPR活動状況について

平成26年11月27日
関 西 本 部

関西本部では、11月から12月にかけて、鳥取県産品のPR・販売を促進するため、県内事業者等と連携して、次のとおりPR活動を行います。

1 松葉がにPRの取組

(1) とっとり松葉がに祭り(今年で3回目の開催)

- ア 日 時 11月15日(土)
イ 場 所 堺中央総合卸売市場内
ウ 実施主体 鳥取県漁業協同組合(共催:大起水産グループ)
エ 実施内容 ○松葉がに・親がにの販売、かに汁の販売
親がに料理教室、かに釣り、「ととリン」によるPR等を実施
○来賓の竹山堺市長にも鳥取のかにの美味しさをPRしていただいた。

※同日、阪急オアシス76店舗、京阪百貨店5店舗、大起水産11店舗で販売。

(2) 鳥取県松葉がにの日記念フェア

- ア 日 時 11月20日(木)~24日(月)
イ 場 所 あべのハルカス近鉄本店
ウ 実施主体 関西本部
エ 実施内容 ○松葉がに・親がにの販売、ポイル松葉がにの試食宣伝販売
初かに汁の提供(土日に各日100食限定)

(3) 初「いい夫婦の日」松葉がにPR(鳥取県松葉がにの日)

- ア 日 時 11月22日(土)
イ 場 所 阪神梅田本店
ウ 実施主体 阪神梅田本店
エ 実施内容 ○松葉がに・親がにの販売
○かに鍋の提供(200食限定)、「ととリン」によるPRの実施

(4) その他PRの取組

- ア 11月22日(土)の週刊大阪日日新聞、11月23日(日)の大阪日日新聞で、「ウェルカニキャンペーン」の広告掲載
イ 10月20日(月)から、関西本部ホームページ及びメールマガジンで「松葉がに」をPR
ウ 平成27年1月15日(木)の毎日放送の番組(ちちんぷいぷい)で「松葉がに」をPRし、視聴者プレゼントを実施予定
エ 11月10日(月)のサンケイスポーツで「松葉がに」のプレゼント企画を行うとともに、賀露・田後の「松葉がに」イベントをPR
オ 12月4日(木)に兵庫県水産会館で「プライドフィッシュPR試食会」が開催され、鳥取県漁業協同組合は「かに汁」を提供するとともに、「松葉がに」とその料理をPR

2 初日野郡産米PRの取組

- (1) 日 時 12月7日(日)

- (2) 場 所 あべのハルカス近鉄本店

- (3) 実施主体 鳥取県日野郡産米改良協会
〔 構成員:日南町、日野町、江府町、伯耆町、県西部総合事務所日野振興センター、県農業共済組合、全農鳥取県本部米子事務所、JA鳥取西部 〕

- (4) 実施内容 鳥取県日野川源流米コンテスト(初めて関西圏で最終審査)

- ア 地元で348点の食味値審査から選出された上位4点の最終審査
イ 先着200名の来店者が試食後、投票して順位を決定(投票者には新米プレゼント)
ウ 最優秀賞1点は「鳥取県知事賞」とし、表彰式は地元で12月中旬頃に開催予定

3 ① 県産加工食品PRの取組

(1) 日 時 11月6日(木)～12月3日(水)

(2) 場 所 近鉄百貨店上本町店

(3) 実施内容 県内9事業者が県産品のPR・実演販売

日 時	県内事業者名	主な販売(予定)商品名
11月6日～8日	(株)丸綜	まぐろ魚醤、じゃこめしの素、さば燻製等
11月9日～12日	(同)糰のおもい本舗	糰のおもい甘酒(プレーン、抹茶、カカオ)
11月13日～15日	アレンジ(株)	白ねぎダシ入り醤油、伯葱露
11月16日～19日	(株)鳥取県食	氷温熟成米、ねばり餅、奥日野ごはん
11月20日～22日	(株)ハイセイ	あご入り鱈ふりだし、野菜ブイヨン、にんにく卵黄ふりかけ
11月23日～25日	菌興椎茸協同組合	炊き込みご飯の素
11月27日～28日	加路屋	とうふちくわ、あごちくわ、鯛ちくわ、天ぷら
11月30日	日南トマト加工(株)	とまとジュース、にんじんジュース
12月1日～3日	エムケイ開発(株)	とっとり大山望のステーキカレー

※11月26日、29日は出展業者なし。

4 その他のPRの取組

名 称	日 時	場 所	主 な 実 施 内 容
「鳥取うまいもん市場」 (鳥取県フェア)	11月14日 ～17日	ピーコック ストア千里 中央店	県内5事業者による試食宣伝販売 ・田村商店：するめ糰漬、金山寺味噌等 ・大黒堂：境産産あじフライ等 ・自然薯屋おおえ：自然薯、バームクーヘン等 ・大山望(15～16日)：地元野菜(販売のみ) ・県物産協会：らっきょう甘酢漬等
県産果物・野菜等の 試食宣伝販売	11月15日 ～16日		王秋梨、白ねぎ、ブロッコリー、エリンギ、 米の試食宣伝販売(日替わり)
「鳥取物産コーナー」 の試食宣伝販売	11月20日 ～26日	あべのハル カス近鉄本 店	県内3事業者による試食宣伝販売 ・JA鳥取西部：特別栽培米大山郷こしひかり、 特別栽培米こしひかり ・日南振興：はたけしめじ炊き込みご飯の素 ・あじくら本舗：ドレみそゴールド各種 その他県産品の試食宣伝販売 ・鳥取県食：杵つきねばり餅等 ・中浦食品：ふりかけ板わかめ ・菌興椎茸組合：炊き込みご飯の素 ・ハイセイ：ふりかけ2種類
県産野菜の試食宣伝 販売	11月22日 ～23日		白ねぎ、ブロッコリーの試食宣伝販売
鳥取和牛オレイン55 の試食宣伝販売	11月26日 ～ 12月2日	千里阪急、 西宮阪急	鳥取和牛オレイン55の販売 (26日、29日に試食宣伝販売)
県産ニンジンの試食 宣伝販売	12月2日 ～3日	阪神梅田本 店、阪神西宮 店、ピーコック ストア千里中央店	ニンジンの試食宣伝販売
鳥取県中部地域の物 産展	12月11日 ～13日 12月18日 ～20日	いしはら商 店	県中部商工会産業支援センターが1市4町 の特産品のPR・販売 (出展業者・販売商品を調整中)

「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」の開催状況等について

平成26年11月27日
名古屋代表部

1 「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」の開催状況について

景気回復が著しく投資意欲も高まっている中京圏の企業に対し、鳥取県の推進する施策や企業立地環境をPRし、鳥取県内への企業進出及び県内企業等との連携を促進するために、「とっとりビジネスフォーラム in 名古屋」を開催しました。

(1) 日程等 11月14日(金) 15:00~18:00 キャッスルプラザ(名古屋市中村区)

(2) プログラム

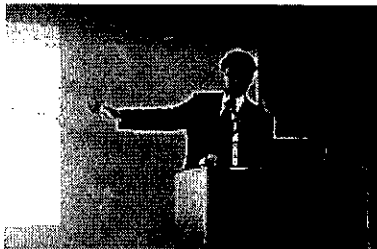
プレゼンテーション	「山陰鳥取で活力ある未来づくりを」鳥取県知事 平井伸治
鳥取県の立地環境紹介 基調講演	商工労働部立地戦略課 池田課長による立地環境、各種制度等の説明 「人材ビジネスの現状について」 講師：株式会社パソナ 執行役員 東海営業本部長 田村 富美子 氏(倉吉市出身)
交流会	交流会

(3) 出席者 120名

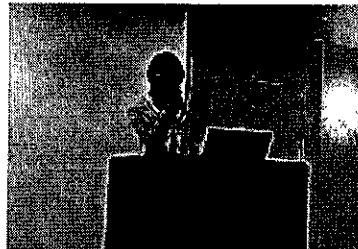
新規企業への訪問活動を強化した結果、中京圏からの参加企業のうち71%の方が今回初めての参加者であり、さらにその約半数が製造業でした。

・中京圏企業	105名(鳥取県が接触している企業、鳥取県に進出している企業等)
・鳥取県内関係団体	15名(鳥取県産業振興機構、鳥取県産業技術センター、鳥取大学、鳥取環境大学、北栄町、鳥取市、米子市、境港市 他)

(4) 概要 知事から、鳥取県の「名古屋からの近さ」、「災害リスクの低さ」、「進出企業に対する助成制度」などを直接PRでき、参加された方から「鳥取県に対する理解が深まった」との声が多くありました。このセミナーをきっかけとしてさらに企業訪問や誘致活動を行います。



知事プレゼンテーション



田村氏講演



会場風景

2 鳥取県ゆかりの経済人との情報交換会について

鳥取県ゆかりの経済人と平井知事等が中京圏の経済動向や鳥取県の最新情報について情報交換する会を開催しました。

参加の皆様から、中京圏における鳥取県の活動に対するご支援や激励のご意見を頂戴しました。

(1) 日程等 11月14日(金) キャッスルプラザ(名古屋市中村区)

(2) 参加者

・平井伸治 鳥取県知事
・中京テレビ(株) 代表取締役社長 山本 孝義 氏
・トヨタ自動車(株) 顧問・技監 池淵 浩介 氏
・(株)パソナ 執行役員東海営業本部長 田村 富美子 氏
・(株)日本ロック 会長 米田 良正 氏
・東海鳥取県人会 会長 可世木 博 氏
・中日本高速道路(株) 関連事業本部担当部長 谷岡 和範 氏 他

名古屋における情報発信等について

平成26年11月27日
名古屋代表部

1 鳥取県の魅力発信、観光誘客について

(1) 鳥取県の魅力を紹介するテレビ番組の放送

鳥取県の見所を平井知事、タレント等が紹介するテレビ番組を中京圏で放送しました。

- ①番組等 中京テレビ放送 10月10日(金) 9:30～情報番組「4U」で30分間鳥取県特集
- ②放送内容 ・鳥取県の魅力を調査に来たレポーター(はんにゃ・川島)が、平井知事の指令を受けながら県内各地を訪問し、とっとり観光親善大使、日本海テレビアナウンサー等とともに県内の見所や10月から始まった「鳥取県ウェルカニキャンペーン」を紹介。
・ロケ地 : 鳥取砂丘、砂の美術館、倉吉白壁土蔵群、三朝温泉 等



(2) 名古屋秋の最大の祭り「第60回名古屋まつり」での鳥取県PR

「名古屋まつり」に参加し、鳥取県の秋旅の魅力や「鳥取県ウェルカニキャンペーン」をPRしました。

- ①日程等 10月18日(土)～19日(日) オアシス21 銀河の広場(名古屋市東区)
- ②主催 名古屋まつり協進会(名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所)
- ③鳥取県出展概要 鳥取県ブースでミニ砂像の公開制作・鳥取県クイズ大会。ステージでの鳥取県PR
- ④県内参加団体 とっとり観光親善大使、砂の美術館砂像マイスター、トリピー
- ⑤来場者数 約63万人(市内5会場合計)



(3) マスコミ媒体での秋冬の鳥取旅PR

- ①掲載紙 中日ショッパー(発行:中日新聞社)10月30日号(全8段 69万部世帯配布)
- ②掲載内容 ・鳥取県の温泉と「鳥取県ウェルカニキャンペーン」
・琴浦町の「塩谷定好写真美術館」など紹介
- ③備考 読者プレゼントで紹介した話題の「梨クーヘン」にはショッパーで今年最多の651通の応募がありました。



2 「食のみやこ鳥取県」PR

中日ビル入居各県協議会が開催する「第11回冬のふるさとフェア」での県産品PRを行います。

- ①会期等 12月1日(月)～12月5日(金) 10:00～17:30 中日ビル4階会場
- ②参加県等 鳥取県他(物産販売17県、観光資料展示3団体)
- ③鳥取県の販売商品:定番商品「とうふちくわ、氷温熟成お米、砂丘らっきょう、あご入りだし」等
:秋の味覚や新商品「あんぼ柿、ねばりっこ、ピンクカレー、おからかりんとう」